

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

2020.04実施 職員8名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	2階も開所し、広々したフロアで目的に合わせて部屋の使い方が出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	足りているが面談が重なるとギリギリの状態。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	入口やトイレや活動場所への段差もなく配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	3	月に一度行う全体ミーティングのみならず、必要な場面で話し合いの場を設けている。全スタッフの共有がまだまだと感じている。毎月職員勉強会を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	年一回のアンケートを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	定期的にハッピーテラス本部からの外部評価をもらっている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	所内、所外問わず、積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	保護者との面談を定期的に行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	ハッピーテラス本部の適応行動尺度検査で対応している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	担当者スタッフの個別になりがちなので、チームで行えるようにする。活動内容、イベントの打ち合わせを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	日々の担当スタッフを当番制にし、活動が偏らないようにしている。ミーティングを行い、新しいトレーニングを取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	毎週テーマを決めて療育をおこなっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	体操、運動療育、SST、造形・絵画、習字、英語、ビジョン、ダンス、外出、イベント、個人活動等を組み合わせながら計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	朝礼の際にその日の担当を中心にして確認しあっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	終礼等でその日気になった事などを職員間で共有し合い支援に繋げている。振り返りをもっと充実させる必要がある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	連絡帳の他、毎日の記録も残している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	行っている。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	8	0	ガイドラインを周知し、基本姿勢に沿って行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	参加しているが、担当者会議が少ない。増やしていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	0	複数で行っている。出来てはいるがより深めていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	1	受け入れは今のところないが今後受け入れた時対応していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2	個人情報同意書に留意しながら行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5	まだ、移行する卒業生がいない。今後出たら対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	県や、市の研修に積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	1	イベントを通して、インクルーシブな成功体験の場を設けている。長期休業利用日に交流を行っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	0	必ず参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	保護者とのコミュニケーションを大切に、送迎時や電話などで日々の状況を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3	エール岐阜の紹介をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	変更があった場合は速やかに伝え紙面でも必ず残している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	面談を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	6	働いている親が多く集まる時間がない。親子ボーリング大会や、ハッピーカフェ等で交流場を提供している。今後予定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	職員間や相談員との連携
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	毎月活動報告を会報（ハッピーテラス通信）で知らせている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	同意書を頂き留意に努めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	連絡帳等で情報を共有している。手話や目に見える方法で意思疎通を図っている。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	ハッピーカフェ、本社家族との交流、グループ会社とのイベント、ハロウィン等で地域交流を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	ファイリングをし、いつでもスタッフが確認できるようになっている。保護者への周知もしていきたい。 定期的な訓練を予定して、実行する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	避難訓練、炊き出しのイベント等本社や、ソーシャルサポートとの合同訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	虐待チェックシートの取り組み。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	必要な場合は記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	医師の指示書ではなく、アレルギーの同意書を頂き、おやつや外出時に配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	ヒヤリハット記録を作成し、定期的に振り返っている。